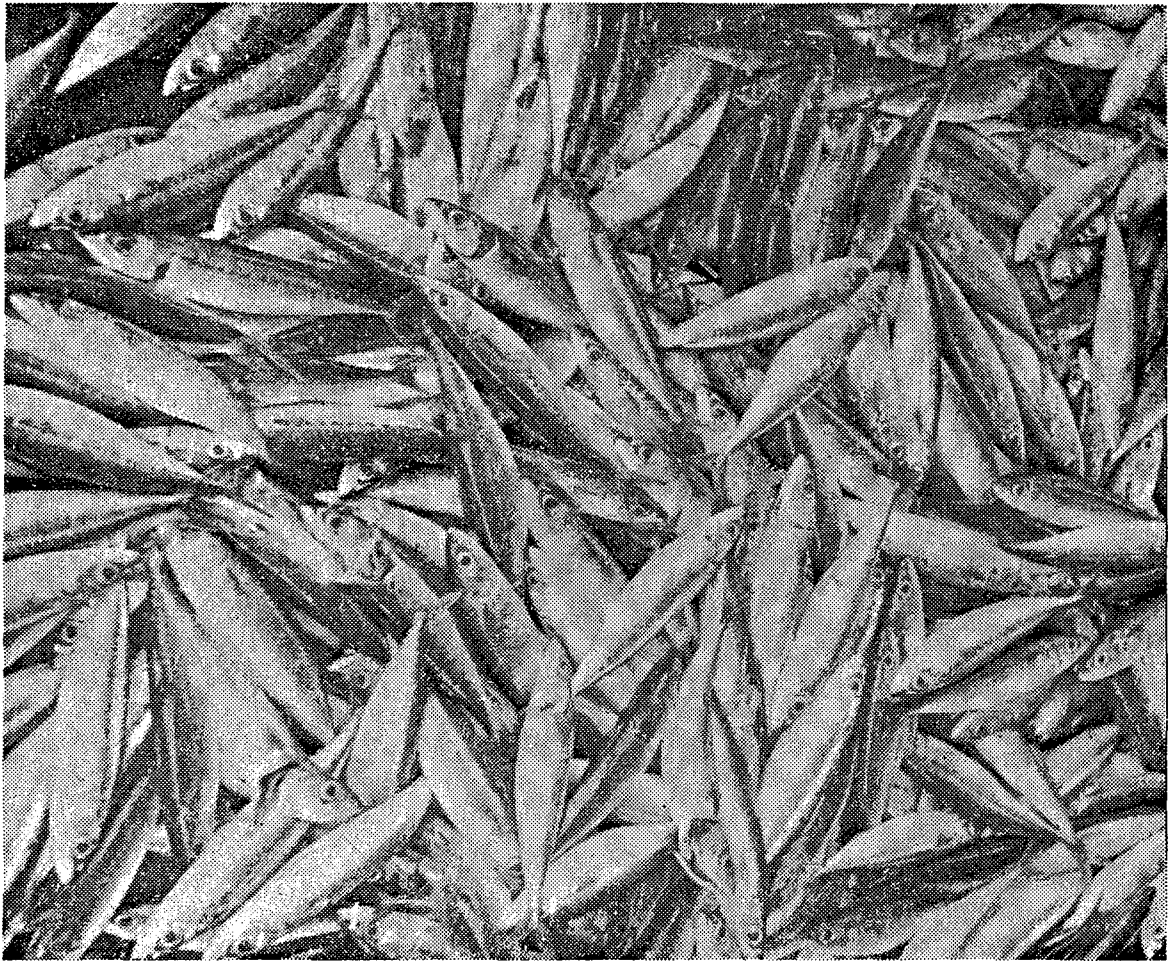


拓水

九月



兵庫県漁業協同組合連合会

第一卷

第二号

昭和三十一年九月十五日発行（月刊毎月一回十五日発行）

一部十円

|| 推★奨★映★画 ||

空と海の間

フィルム・ソノール社製作(フランス)
文部省特選・兵庫県青少年
映画等審議会 推薦の映画

△話のすじ▽

北氷洋上のフランス遠洋漁船で、ふとしたことからハム中毒で船員がたおれる。船の医務室には解毒の血清がない。無線で救援を頼むにも、無線士が死に瀕している。

アマチニア無線の免状をもつ船員が代つて救援依頼の無線を發する。これを受けるのが、やはりアマチニア無線仲間。国境を越え、人種を越えた人類愛に結ばれて電波は八方に飛び、八カ国の人々の協力によつて、待望の血清は飛行機によつて船に届けられ、多くの生命が救われる。

△推薦の理由▽

この映画の主題となつている国境・人種をこえたヒューマニズム(人類愛)こそ、現代の世界にとくに必要でありわが国の未来を背負う青少年に特に見てほしい、と兵庫県青少年映画等審議会の朝倉斯道委員長は強く希望している。海に働く漁村の青少年諸君にはぜひ見てもらいたい映画。全世界に大反響を起した人類愛の映画である。

△スタッフ▽

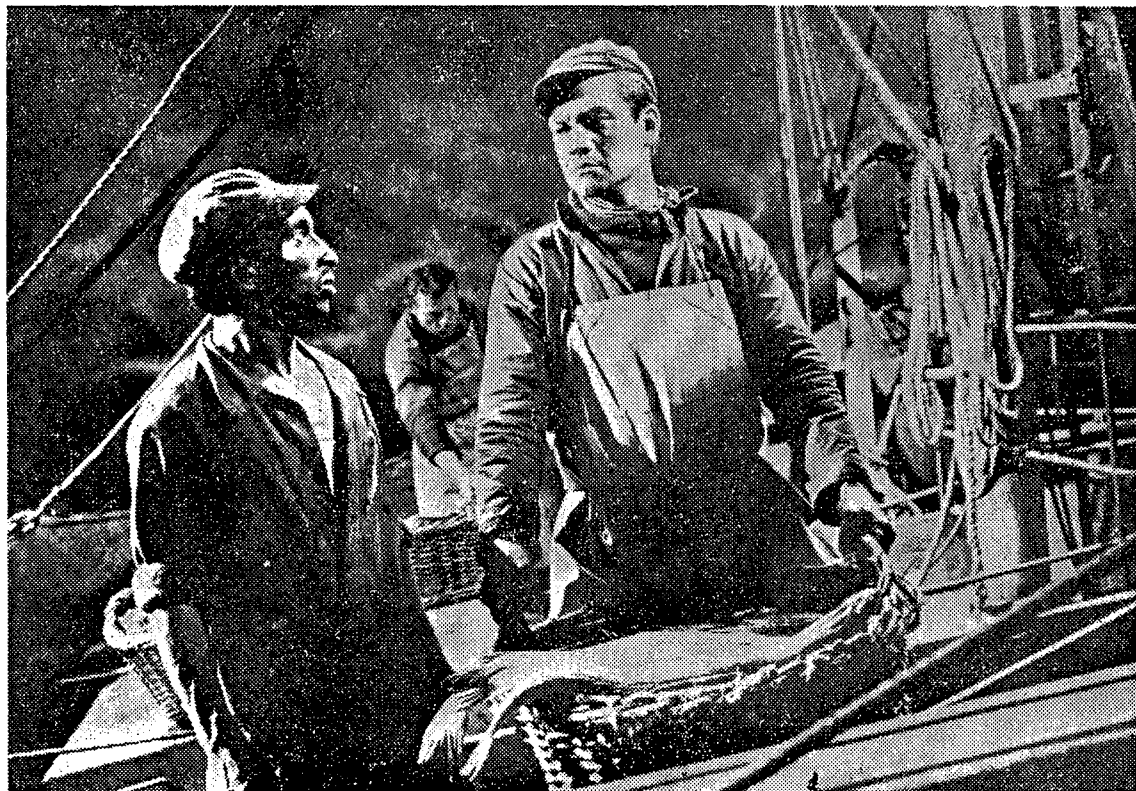
脚色 HGクルウゾオ

監督 クリスチヤン・ジャツク

主演 アンドレ・ヴァルミ

ジャン・ガヴェン

ジヨルジュ・ブウジュリ



冬が去り四月、五月の候となり気温が昇り水温が上昇してきますと、深海遊寒の魚も、泥を潜つて冬眠していた魚も、元気が出て一斉に起出て来るのであります。紀伊水道方面に居を構えていた「たい」や「さわら」、「いさぎ」、「はげ」、「いか」等の魚は沼島を経て鳴門海峡由良瀬戸をとり夏の漁場内海へとほつて来ます。この時期を魚島季節と申しております。

この季節に家島沖へ鯛網見物に行つた時に私が現地を駄句つた歌の文句を御紹介しますと、「兵庫ちよいと出て家島ほとり、引くやか

すらのからく」とおろす大網、あげの錦のさくら鯛」との文句であります。秋にこの時期特に鳴門を通つて播磨灘、備讃海峡の島々の海域へと魚が進入して来る時期に南西の海域の豊後水道より瀬戸内海へと時を同じくして、進入して来る魚とが集中する中心場所が香川県丸亀市沖の塩飽七島の海域となりますので、俗に魚島の季節ともなれば「魚が毎年金

比羅さんへお参りする」と伝えられているのであります。そこで漁業者は常に海上の保護神として金比羅さんを信仰して居りますので、この信仰心と結び付けて「魚の金比羅参り」の伝説が生れ来たのではないかと考えられるのであります。此の事に関連しまして魚族の習性等について考えてみますと、大体背の青い魚は群集遊泳魚であり、背の赤い魚は

魚の時期はこの藻に隠れて外敵を防いで棲息し、夏の水温の高い季節に充分發育するのでありますが、秋の終り頃より水温が下つて来ると棲息が困難になつてくるのであります。大体魚族は水温が十度以下にならずと棲息に適さなくなるもので、大小の魚は拏げて適水温の所へ逃げたすのであります。速力の出る魚は鳴門海峡、由良瀬戸等を通つて紀伊水道の水温十

魚の金比羅参り

兵庫県漁連 三浦清太郎
会長理事

磯付の魚であり、背の黒いのは泥付の魚であると判別が出来ます。魚の世界は弱肉強食であつて小さい魚は大きな魚の餌にされ、小さい魚は「プランクトン」を餌にしています。稚魚の孵化する時期は、内海方面では特殊な例を除けば梅雨前より梅雨の時期であり、産卵の場所は沿岸数丁の沖合砂屑と泥との境にあぜ藻がありこの場所に於て発生し、稚

つて冬眠するので、冬期内海には魚と云う魚は殆んどいなくなるのであります。此れを称して冬枯れの時期と申して居ります。冬が去り春が訪れて参りますと再び魚の金比羅参りが始まり内海方面の漁業は活気をおび日本一美味な内海の魚が食卓をにぎわすようになるのであります。

魚の金比羅参り	1
三浦清太郎	
町村合併の暗礁	2
A 漁協職員	
資源愛護について	2
ラジオ番組	3
ニュース	4
あさくさのりの種付け	6
巡回即売の計画すすむ	7
義捐金を募る	7
組合長の移動	7
資金の特別融通制度	8
今年の県外出漁	9

― 本年七月神戸西ロータリークラブにおける講演 ―

町村合併の暗礁

A 漁協職員

(私)は合併推進委員から、町村合併の必要なことや、新町建設五カ年計画や、町税が軽くなることなどを

きかされて、これはぜひ町村合併を実現させるべきだ、と考えて、合併賛成第一人者として大いに奔走したものであります。かくていよいよ新町が誕生し、私はわが事のように喜んでおこつて、「町村合併は正しいのか」と疑問を抱くようになりました。

不合理で高い税金

(昭)和三十年度の組合員割所得税の件だが、本来なら組合員の実収に基いて課税されるべきはずであるのに、組合の均等だとか、組合歩合の算入だとか、いろいろ横ヤリが入つて、きわめて不合理にゆがめられる上に、税率もまた旧村よりも高い。「約束とちがいます。」と叫びたく

なるのも当然でしょう。

漁港工事の競合

(私)の組合では前年度から漁港防災工事を望んで来た。第一種漁港なので事業主体は町です。町とともに目下陳情に奔走しています。去年は県の予算の都合で保留となり、今年こそは何とか、という意気込みで組合幹部は大へんな力の入れようですが、ここに困つたことができました。隣接のK組合の方でも漁港工事の陳情をしているのです。K組合は、私の方とちがいが修築なので事業量も大きいのですが、もう十年近くも順番を待たされて来たという有様です。私の組合は防災工事なのですが、港の実情からいえばもう一年はとも待てない有様。こうして事業の種類こそ違え、一つの町内から二つの漁港の工事が申請されるとなると、何とかリクツをつけて申請を却下して少い予算のワケ内におさめようとする中央官庁に目をつけられる

のは必定。こんなことで仲良くやつてゆくべきK組合とのなかに水がはいつては大へんまずいことでしよう。誰もいつてくれなかつた町村合併の不利の一つでありましょう。

不合理な条例

(県)庁へ出す書類で、町役場を経由しなければならぬものが多いるあります。そのなかには単なる經由だけで意味をなさぬものもあると思ひますが、それは一応別問題として――

旧村の場合は、役場も近いし、經由といつてもポストより少し遠いという程度のことでしたが、新町となるとそうはいきません。一人でいくつもの仕事を兼ねているのが組合職員の実情ですから、町役場への往復で時間を空費しているわけにはいかないので。それで過日、当町産業係長に面接したさいに、このわけを話して、できれば出張所(旧村役場

)で受付してもらいたい、と申入れました。ところが彼の答は「それは町条例の規定に反するからできません」

と拒否されました。私にはいまだにここところが充分ナツトクできません。組合の業務合理化のために県の方で何とか処置してもらえないか、とも思います。

全く反対ではない

(小)さな組合の、しかも職員立場からのクリ言ですが、他にもより以上の苦境にある方もあろうかと思ひ、あえて実情を書きました。町村合併には全く反対というわけではないのです。はじめには大賛成だったので、実際となると改めなければならぬ点が出てきたということです。みんなの力でひとつひとつ改めてゆくほかないでしょう。今さら歴史の車を逆さまにするわけにはゆきませんから。

資源愛護について

自由漁業者の立場より

兵庫県漁連による水産資源愛護の運動は、最も時宜に適した行事であります。私は釣、延縄などの自由漁業

者の立場から、日頃考えている事柄を取り上げて見ました。

漁業者の自主的な反省

漁業者自身が自主的に資源愛護の重要性を痛感し、いたずらに獲る事のみを考えず、魚族を繁殖さし保護する考えを持つべきであり、特に指導的立場にある人は、視野を広く沿岸漁業の将来にまで想を及ぼし、目先の現象にのみ捕われず、指導に当

つて戴きたいと思えます。現在指導的立場にある漁業者の中には、魚族と云うものは獲れば獲る程増えるとか、或いは海底は、攪乱すればする程魚族の為に良いとか、主張する人もあるようですが、私はこの人達の常識を疑いたくなる程です。一方漁場に於きましても種々禁止、制限の法規はありますが、果当局が違反漁業の取締を実施されましたも、違反者が暴力を行使する事もありますし、中には悪いと知りつつ、生活の為に自暴自棄的に獲るだけ獲つてなくなれば廃業すればよいと云うような觀念で、無茶な操業をしており、強力な漁船、漁具で貧弱な自由漁業者を圧迫し、侵害しております。この事は自由漁業者にとつても死活の問題

でありますので、両者間に暴力沙汰が頻発して居り、せつかくの法規も守られていない状態です。これを解決するには、政治的な裏付保障の無い限り廃業もむつかしいんではないかと考えられますが、とにかく漁業者の自主的な反省が必要で、是非共将来の為に自爾が必要であると痛感致します。

使用漁具の制限

現在果当局並びに海区調整委員会においても禁漁区域などの制限、禁止に重点を置いて居られるように思われるのでありますが、私はそれ以上一般的な漁具漁法の制限に特に重点を置いて貰いたいと思うのであります。逐次、改良進歩する漁具、漁法が漁業の発展に寄与する事も大きいのであります。日夜限りなく進歩する漁具、漁法は、或る線において厳然と阻止、禁止すべきであつて、新式漁法を無制限に使用させると、近い将来において水中潜航漁業等が出現する時、魚族は全滅に近い状態となるのではないかと憂慮されます。あたかも二十世紀文明の弊である水爆も使用の如何によつては、人類を破滅に導くのと同一理窟ではないでしょうか。

対策委員会の設立

沿岸資源の愛護対策委員会(仮称)の様な組織団体をつくつて学識経験者、県水産指導員等を中心として海中撮影により、底曳漁業の海中に於ける網の状況、海底魚族に及ぼす影響等を詳細に観察、研究するとか、先般果漁連が試みられたごとく漁民に対し水産資源の保護認識啓蒙の運動を展開するとか、其の他現行法規による海区、時期等は明確にし、定められた法規を厳守させるように務め、又一方、制限された区域内はあたかも農家が自己所有の田畑を管理するように整然と魚礁を沈設したり、蛸壺を投入し或いは、稚魚、稚貝を放流する等水産資源の増殖、繁殖の方途を研究したいものです。

取締りの強化

最後に果当局へお願い致しますが、現行法規が生きております以上違反操業者に対しては、断乎制裁が下さるべきだと思います。漁業者の生活を考えられる時、取締る行政官にも云い得ぬ苦勞もありましようが、法規を死文に終らせない様に努力して戴きたいものです。厳然たる取締があつて、初めて遵法精神が生

ずるのではないのでしょうか。自由漁業者には何等かの保護の手が差伸びない限り、自滅の外無いのでありまして、私は水産資源愛護の立場から転廃業の問題にしても、外海遠洋進出の問題であつても先ず底曳業者を先に対象にして、考えて戴きたいと思つてあります。結論としまし、私は一日も早く漁業者各自が理解し、国、県、当局の施策により、安全なる保障の下に毎日を安んじて生業に励む日の、一日も早く訪れることを切に希望しております。

兵庫県津名郡淡路町岩屋
岩屋水産研究青年会
中 島 光 春

ラジオ神戸

農漁村の番組

朝6時10分~25分まで	9月19日	福良の養殖真珠	現 録
26日	小型の漁船機関	杉本 技師	
10月3日	いわしの鮮度の話	助川 技師	
10日	今月の漁況と海況	浜田 技師	
17日	漁港について	佐竹 技師	

魚探にもポータブル時代

一本釣に革命？

魚群探知機は最近では、瀬戸内海のような特殊海域を除いて、二十トン以上の漁船にはほとんどつける勢となつて来た。そうなるにますます小型、手軽安価な品が要望されるのでメーカー側でも、海上電機が二年前に十七万円、日本無線が昨年十五万円、水産電気工業が本年十五万円のいずれもポータブル(三貫前後の携帯型)を製作発売した。小型のため、性能の一部は大いに劣る点があるが、釣や延縄には一応充分であり、また旋網などでも大型一合より小型二合をもつ方が魚群の捕捉には便利であるので急速に普及する傾向にある。しかし安くなつたといつても十五万円、小型漁船にとつては機関一合分に相当するので、無計画に買入れたのでは、漁獲の増加分を魚探代につきこむだけに終つてしまふ。それ

で一台の魚探を中心に釣漁船、五ないし十隻が組んで水揚高をプールする方法をおみ出さなければ採算がとれない。さらに二台の魚探をもつて二組の漁船団が連絡をとれば一層効果がるものとなる。

本年、水試が国庫補助を得て、小型魚探二合を買入れ、但馬漁村青少年クラブ連合会を通じて、一本釣漁船に貸す計画がある。魚探を使つて一本釣の経営面に、共同計算という革命的な方法をとり入れるにはどうすればよいか、という問題の解決をしたい、というのが、水試のねらいということだ。但馬では、今年の七、八月、夏いかか極めて不漁であつたので、水試の魚探で足の速いサバの魚群を捕捉して大いにつるうと今から意気こんでいる。

のり種ひび

赤穂で委託生産

水産試験場では、昨年まで全く他府県から購入していたのりの種ひびの県内自給を計画、赤穂漁業協同組合に委託することとした。昨年度の他府県発註の約五割を自給する目標で、種ひび一五〇枚養成の計画を樹て、播磨・淡路の組合に希望をつつたところ、八月二十五日までに、合計二八〇枚の種ひびの申込みがあつた。そのうち赤

穂産は二二七枚で計画をはるかに上廻るので、やむを得ず、一五〇枚に割当てを行い、不足分は愛知県産と徳島県産とで埋めあわせてもらうこととした。価格は、種ひび(四尺に十間)一枚につき、愛知県産一千元(運賃込)徳島県産八百円、赤穂産六百九十円(浜渡し)と赤穂産が格安である上に、赤穂は二潮養成をするので初心者向きである。なお試験場養殖課では、九月の下旬から、のり場の区割、潮位、潮流の観測、資材の用意等、のり養殖の準備にかかるよう望んでいる。

但馬でかき

内海で天草

合成繊維の網をつかつてテングサの養殖をするのは、最近注目されて来た新しい技術であるが、内海で御津町と淡路町で試験的に実施しようという企画がある。

また但馬では柴山湾の湾内で、かきの養殖と真珠母貝の養殖を試験してみようという企画がある。いずれも水試の指導の下に、水産普及員が担当して、地元漁協の名義で行うもの。本年度の水試委託費交付の予定になつている。

土管の魚礁

淡路 釜口で作る

淡路東浦の釜口漁協では、仲野水産普及員の指導で、水産試験場技師の創案による土管式魚礁を製作、八月十五日に地先に沈めた。土管式の他に、仲野普及員が考案した組立式三角柱も製作沈下した。八月二十九日には水産試験場から、潜水具をもつてゆき、沈めた状況等を調査した。この試験は、各種型式の魚礁の性能をくらべるといふ、意味の深い仕事であるので、水試では本年度の委託費事業のひとつにとりあげている。

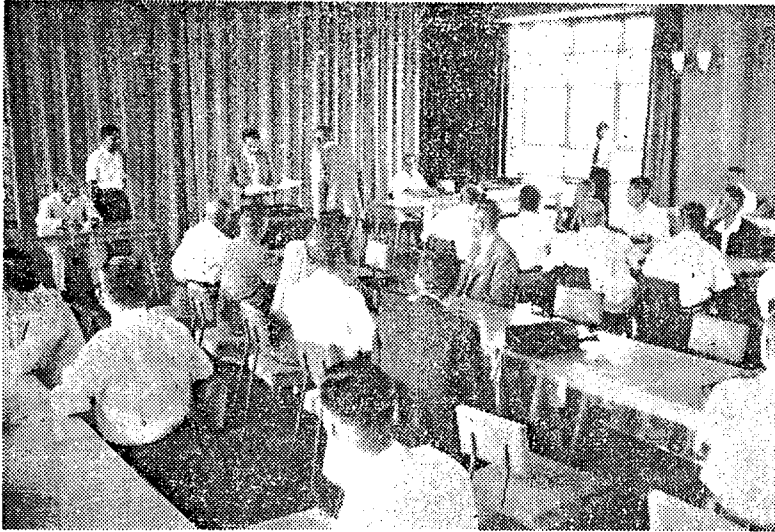
海区委員の

初顔合せ

旧委員に感謝状贈る

第十四回兵庫県連合海区漁業調整委員会は、九月五日、午後一時から県立水産会館(神戸市兵庫区)四階ホールにおいて開かれ、新しい海区漁業調整委員三十名の初顔合せが和やかに行われた。

会長には、島田文治郎氏(東神戸漁協)職務代理者は、西上重式氏(香住漁協)が選ばれた。引続いて兵庫県内



感謝状贈呈式(水産会館)

海連合海区漁業調整委員会が開かれ、会長、塩崎義氏(佐野漁協)職務代理者、榎本寅之助氏(津津漁協)の選任をみた。なお、瀬戸内海連合海区漁業調整委員会の委員として、三浦清太郎氏(兵庫漁協)が全員の賛成によって推された。

各海区の漁業調整委員会は二時三十分から開催され、それぞれ会長、職務代理者がきめられ、予定どおり三時に全部の議事を終了した。

摂津播磨海区漁業調整委員会
会長 島田文治郎(東神戸漁協)
職務代理者 福沢 勘一(家島漁協)
淡路海区漁業調整委員会
会長 塩崎 義氏(佐野漁協)
職務代理者 阪東喜三郎(福良漁協)
但馬海区漁業調整委員会
会長 西上 重式(香住漁協)
職務代理者 岡本久五郎(居組漁協)

なお、午後三時三十分より、旧漁業調整委員に対して、水産庁長官から感謝状県から記念品の贈呈式が行われ、臨席した阪本知事は、困難な海区調整問題の解決が順調に行つたことについてその労をねぎらつた。

漁協婦人部の大会

県下の漁業協同組合に、新しく婦人部の組織ができ、これから一年になる。そこでこれを機会に、婦人部大会を開き、今までのいろいろな活動をお互いに交換して、大いに意気を昂めようと、第一回婦人部大会の開催計画が関係者の間で進められている。

いまのところ、日は十月二十六日、場所は県立水産会館の四階ホールが予定されており、淡路、但馬をはじめ県内各地の漁村婦人の、初の会合の成果が、大いに期待されている。

標語、論文 入選さきまる

資源愛護の表彰は
本庄、古宮の漁協

日本水産資源協会(社団法人)が中心となり、七月一日から三十一日まで全国的に展開された水産資源保護月間の記念行事の一つとして、これが標語及び対策論文を募集中であつた県水産課では、慎重に審査した結果、次の作品を入選にきめた。

- (標語)
- 培つた魚族が漁家の守神
 - 乱獲の果は蛸式自滅論
 - 浜坂町産業課長 下稚意秀夫
 - 採るよりもそげ繁殖保護培養
 - 浅野漁協職員 中井 誉富
 - 今日の乱獲 明日の滅亡
 - 飾磨漁協職員 釣 賤雄
 - 小獲物大きくなれよと海へ投げ
 - 阿閉村水産業技術改良普及員 黒石幸太郎

(論文)

- 水産資源保護
- 阿閉村水産業技術改良普及員 黒石幸太郎
- 水産資源保護対策について
- 広畑漁協組合員 夢前 太郎
- なお同時に募集した「事業実績報告」は、応募作品がなかつた。
- なお、従来からワカメの移植、ナマコの増殖その他、漁場の育成指導、強化にあつてきた、本庄、古宮各漁業協同組合は、日本水産資源協会より、優秀団体として表彰された。

県水産課の陣容かわる

淡路は石田課長

- 県水産課は九月一日附で次のとおり移動があつた。
- 経済係長 松浦伊三郎(組合係長)
 - 組合係長 井沢 康夫(生産係長)
 - 生産係長 森下 勝巳(漁業権係長)
 - 漁業権係長 吉岡平太郎(保安係長)
 - 保安係長 梶川 太郎(調整係長)
 - 調整係長 本多紀男(淡路農林出張所水産課長)
 - 淡路農林出張所 水産課長 石田 仙次(経済係長)
- ()内は旧職

あさくさのりの種付

たねつけ

兵庫縣水産試験場技師

浜 口 章

網ヒビの利点

兵庫県では数年前からあさくさのりの養殖に播州地方で網ヒビをかなり使うようになったが、まだ充分に普及しておりません。漁場によつては浅くてソダヒビしか建てられない処もあります。大半の漁場では網ヒビ養殖ができません。網ヒビは操作し易く、単位面積当りの收穫量も多いことは勿論ですが、ソダヒビと違つてのり場の潮通しがよくなり、現在ソダヒビばかり建てていて生産が少くない漁場でも、一部に網ヒビを使えば、潮通しをよくして、のりの生産高を上げることができるとです。

網ヒビを一度でも使つた方は御氣付の事と思いますが、網の上げ下げによりの芽付や葉の成長が非常に変わります。網を張る高さにより、アオノリが着いたり、クロの着きが違つたり、又、ノリの成長も大変差ができて来ます。ですから、芽のつく所やよく成長する高さは目分量でやつたのではうまくゆきませ

ん。広島や岡山県のように、潮の干満差が四米近くもある処では、或る程度、目勾配もきまますが、播州地方のように干満差が少い漁場では芽の附着層も、成育層も、幅が非常に狭いのですから、潮の観測を行つて正確に決めてかからねばなりません。

種付の高さ

あさくさのりは御承知のように干潮線と満潮線の間で生育する海藻ですが、冬の海岸の防波堤などをよくみますと、イワノリやアオノリが生えている高さは大体決つていて、一尺位の幅で水平に帯のように抜がつております。この帯はいつも同じ位置にあるように見えますが、実際は毎潮、少しずつ高さが変わつてゆきます。これは主として潮の変化が原因です。あさくさのりでも同じことがいえます。種が着いたり、葉が成長するには一日に何時間か空気にあつていなければなりません。このことすればお分りになることと思いま

す。ノリの種付に最もよい高さは、一〇月の月では、一ヶ月間を通じて一日平均四時間二〇分位ヒビが空気にあつていよう高さです。この時間のことを私達は「干出時間」といつております。この種付の高さを決めるには潮の観測を行います。観測は九月の大潮日に実施します。その日は最干潮時は——当地方では「ヒドコ」と呼んでいる様ですが、この「ヒドコ」を中心として前後四時間ずつノリ場に立てた観測用標柱の目盛を見て、一〇分か二〇分間隔で潮の動きを記録します。

建込の時期

のりの種は単胞子(たんほうし)は水温が廿二三度になればどんどん出る様になります。しかし、何時でも大量に出ている訳ではありません。時に限り殆んど出ない日もあり、大量に出る日もあります。胞子が大量に出る日にヒビを建込みすれば理想的な採苗ができることになり、大要です。目安として、大潮前後の日とか、風のよく吹いた後とかが一般によいといわれております。その他、毎日胞子が出る状態を調べたり水温の変化や海水中の泥の量の変化をみたりする方法がありますが、どの方法が、どんな漁場に適切であるか、決める事ができない様です。毎年播州のノリ場を廻つて気付いたことですが、網の種付は大変むづかしいように思つている人が多い様

ですが、ソダヒビと同じです。むしろ自在に網の操作ができますから、ソダヒビより「つけ易い」のではないでしようか。ですから、よい種場のある漁場では、試みに種付をされるようおすすめてします。

網ヒビの收穫量

兵庫県で主に用いられている四尺中、長さ一〇間の網ヒビであれば、固定ヒビでノリが一、八〇〇枚位が平年作と見ております。これはノリを採取する回数が五潮乃至六潮の場合です。浮ヒビにしますと、勿論これを上廻ります。今までの試験の成績ですと、最高、固定ヒビで四、八〇〇枚位とれております。ノリの養殖は天候に左右されることが多いのですが、網ヒビ養殖では手入を行えば行ふほどよい結果が出ますから、網の管理は充分注意してやらねばなりません。

のりの人工種付

最近、あさくさのりの研究が大変進みまして、のりの養殖方法も年々進歩してあります。春、海の中に落ちたあさくさのりの種——これは「果胞子」と呼ばれておりますが、この胞子が秋まで海中でどんな生活をしているか、秋にヒビにつく胞子は何処から来るのか、など、ノリ養殖にとつて色々大切なことが分つて来ました。春先、ノリの漁も終りになると、葉の表面から盛んに果胞子が出て海に落ちます。落ちた果胞子

はすぐ海底に附着して、糸状の体に生長します。これが糸状体といえます。この糸状体はノリ場近くのやや深い海底で夏を越します。秋になると、糸状体の一部に「単胞子」というノリの種を入れてある袋が出来てこれがだんだん赤味を帯びて来ます。これが種付の時期になり、水温が二二・三度以下で来ますと、この糸状体から盛んに「単胞子」が出るようになります。この単胞子がヒビに着く訳です。あさくさのりのこの様な性質を利用して「人工種付」の研究が、今、各地で行われております。人工種付とはどの様にするかと申しますと、春先、充分成熟したノリ葉の果胞子を人工的にカキなどの貝殻につけ、この貝殻を海水を張つた池や海中に定下して秋まで飼育しておきます。水温が、二二・三度に下りますと、この糸状体から単胞子が盛んに出る様になりますからこれをヒビに着ければよい訳です。この様な方法ですと、池の中の水温

も自由に調節できます。水を動かした糸状体に刺戟を与えて胞子をおもう時期に出させることも、まだアオノリなどの害になる生物の附着も防止できると思いますので、将来はこの種付技術が完成され、簡単に種付ができる日もきつと来ると信じております。そうなるのとりの養殖は農業と全く同じようにのりの全生涯を管理するわけで品種改良も可能となりましょう。

☆ ☆ ☆ ☆

以上、種付けについて簡単にお話申上げましたので、分りにくい点があることと思いますが、今まで私達が別府や赤穂のノリ場で養殖試験を行つたところでは、播州地方のノリ場でも網ヒビがすぐれた養殖方法であることが判明しておりますので、今後網ヒビによる養殖を極力おすすめて致します。尚、網の操作について分らない点は、水産試験場に照会して下さい。

巡回即売の計画すすむ

好成績にカコブ

―県内海漁連の購買事業―

兵庫県内海漁業協同組合連合会では、従来から日用品等の購買あつ旋を行つているが、その成績がよいの

で、さらに漁協組合員の便宜をはかろうと、次のように巡回即売を計画している、希望の漁協は九月十四日

までに内海漁連あて申込まれると巡回してくれる。

実施計画

☆会場は、地元の漁業協同組合の建物を利用し、半日づつの予定。
☆実施は、申込書を出した組合だけとし、期日は九月十八日から約五日間（第一次）の予定で、第一次の期間中にできないときは第二次（十月上旬）において行う。

実施方法

☆即売会場における個人取引は、現金取引とし組合或いは婦人部の大量申込によるものは、今までの取引方法による。
☆即売品目、価格
品目
即売品は、去る四月に発行した「日用品、化粧品等販売価格表」に記載した品目の内大別すると次のとおり。
洗濯用各種石鹼、化粧石鹼（箱入セロハン包）歯ぶらし、齒磨類各種、化粧品各種、縫糸各種、脱脂綿、チリ紙、障子紙、ナフタリン、カイロ灰その他

働き手を

失つた家族へ

義捐金を募る

津名郡一宮町、那家浦漁業協同組合員、山本由男氏は、去る九月四日同郡山田村沖合で、手繰網漁業を操業中、誤つて機関のローラに巻かれ折柄、僚船は離れていた為、三時間半沖合に漂流、この間出血多量で遂に死亡されたが、同家は、父梅吉氏（六〇才）と中学一年の妹の二人で働き手を失い、生活にも事を欠くようになったので、兵庫県内海漁連では次により義捐金を募つている。

◆募集金額 一口五百円（一口以下でも良い）

◆締切期日 九月末日

◆送金先 神戸市兵庫区泉立水産会館内兵庫県内海漁業協同組合連合会あて

◆贈呈方法 那家浦漁業協同組合を通じて、遺族に贈呈 Y

組合長の移動

香住漁協 前 守山源太郎
新 西上 重次
柴山港漁協 前 大西 三造
新 松井 重明
全国漁連会長決る。
前 会長 木下 辰雄
新 会長 片柳 貞吉

資金の特別融通制度

県は一億円を予定

漁業をより良くする為には、優秀なエンジンを取付け、操業を容易にすることも大切であるが、また老朽化した漁船を新造したり、悪い箇所を改造することも、単なる経営面の改善だけでなく、安全性をたかめる上から必要といえるだろう。

しかしこうしたことは、財政的に恵まれない沿岸漁家にとつて、自己資金だけではなかなかむずかしい相談である。一般市中銀行に頼ることが少い現状からみて、漁村には利子の高い金が、さらに漁家の生活を苦しくしているようである。もちろん兵庫県には信漁連が、着々と堅実な歩みを伸ばしてきており、系統金融の利用も次第に大きくなりつつあるが、その反面、未だこうした系統利用のできない漁家が、かなりの数にのぼることを見逃すことはできない。

兵庫県では、漁業生産に必要な資金を低利に融通して、県下漁業の振興をはかり、漁家経営の安定、自立化を強く推進しようと、農林漁業振興資金特別融通制度を昭和三十一年度において実施する方針をあきらかにし、現在その成案を急いでいる。以下この制度の漁業関係についてあ

らましを眺めてみよう。

系統機関を利用

県は利子補給

まず、この制度によつて資金の融通機関となるのは、兵庫県信用漁業協同組合連合会(信漁連)並びに農林中央金庫(中金)で、今まで活躍していた系統機関が、さらにこの制度によつて一段とその働きを増加し、一般市中銀行より有利な条件を備えることになるのである。

しかし、制度の根本的な運営については、県がつくつている融資審議会がこれにあたることになつており業界からその活潑な運営が期待されているのである。

融資の対象として審議会が審議するものはほば次のようなものである。

- 1 漁業用資材購入資金
- 2 水産用施設資金
- 3 漁村生活改善施設資金
- 4 漁船建造、改造、取得資金
- 5 漁船機関の換装及び漁船施設資金

これらの対象が、その必要性と重要性などについていろいろと審議されるわけである。そして県はこの

制度による貸付に対し、予算の範囲内において年四分以内の利子補給を行い、漁業者の負担をぐつと引下ようとするのである。もちろんこれは単位漁業協同組合を通じての話である。

貸出しにも限度

建造は四十万円

資金の貸出の方法については、それぞれ融資機関のきめている貸出手続きによるのであるが、この制度にも貸付の条件がきめられており、なんでも良いというわけにはいかない。

漁業生産資金貸付対象、貸付期間、利率

(案)

貸付対象	貸付期間	利率
一、漁業資材購入資金 1 漁業用燃油、燃糸、漁網網 2 燃料 3 その他必要な資材	一年以内	六分
二、水産用施設資金 1 漁船、漁具倉庫、製品倉庫 2 網干場、梁網倉庫 3 水産加工施設 4 増殖施設	一年以内	七分
三、漁村生活改善施設資金 四、漁船建造、改造、取得資金 1 漁船の建造、購入 2 漁船の改造、修理 3、漁船機関の換装 4 漁船の無線及び魚探	四年以内 一年	七分

一、貸付利率は年七分以内とし別にきめる。

二、償還期間は五年以内、据置は一年とし、別に定める。

三、融資にかかる市町村漁業協同組合並びに一漁家に対する融資額及び貸付額の限度は、次のとおりとする。

2 漁業生産に必要な資金の貸付は、一漁家当り十万円(漁船の建造、改造、取得の資金については四十万円)以内とし一組合当り五百万円を限度とする。但し以東機船底びき網漁船の建造、改造、取得の資金については右の限度を超えて貸付けることができる。

以上、兵庫県農林漁業振興資金特別融通制度について、その大筋だけを述べたが、県では、三十一年度融資限度額を水産関係約一億円とし、早急に実施に移すようその体制をかためている。



みんなの信漁連 みんなで利用

兵庫県信用漁業協同組合連合会

会 長 島 田 文 治 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話⑥0193
但馬支所 香住町字中浜頭 香住125

漁業者はまず遭難共済の加入で

兵庫県内海漁業協同組合連合会

会 長 三 浦 清 太 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話⑤3424-5
明石油槽所 明石市船町 明石3207
富島油槽所 北淡町富島 富島 66
仮屋出張所 淡路町仮屋 仮屋 59

購 買 品 は 系 統 利 用 で

但馬漁業協同組合連合会

会 長 守 山 源 太 郎

城崎郡香住町香住 電話香住154

神戸市兵庫区
新在家町

兵庫県立水産会館

電⑤8301(事務)
電⑤9563(宿泊)